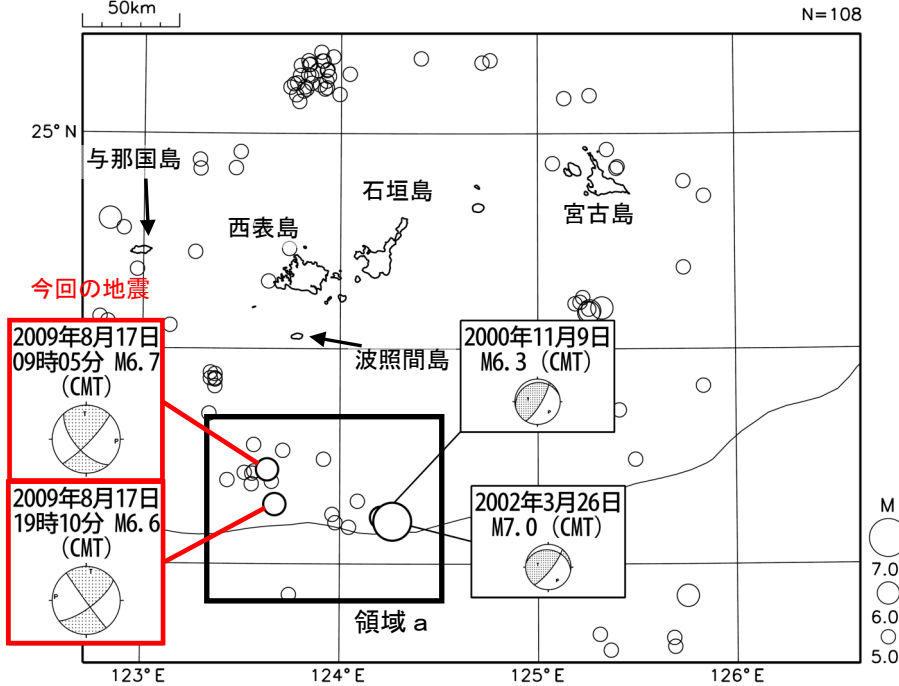


# 8月17日 石垣島近海の地震

震央分布図

(1990年1月1日～2009年8月31日、深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ )

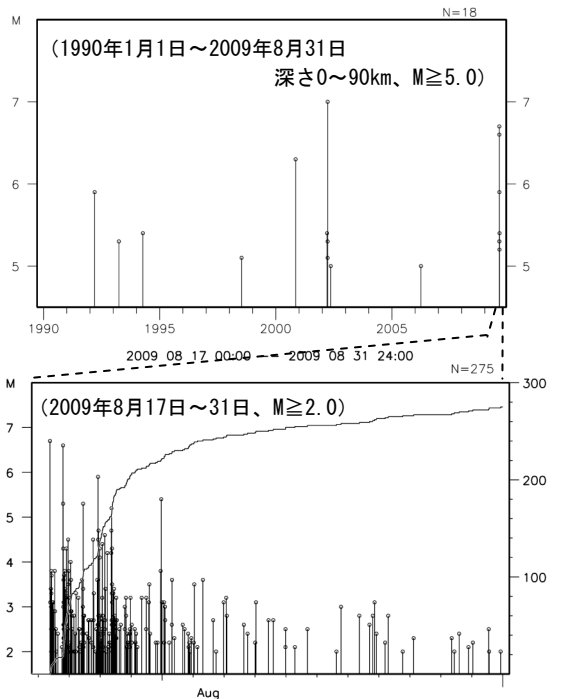
1990 01 01 00:00 -- 2009 08 31 24:00



2009年8月17日09時05分に、石垣島近海(石垣島の南南西、約120km付近)でM6.7の地震(最大震度3)が発生した。また、同日19時10分に、ほぼ同じ場所でM6.6の地震(最大震度2)が発生した。発震機構は、どちらの地震も南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。気象庁はこの2つの地震において、共に一時、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、どちらの地震でも津波は観測されていない。今回の震源付近(領域 a)でM6.0以上の地震が発生したのは、2002年3月26日のM7.0の地震(最大震度1)以来である。

右の回数積算図を見ると、今回の地震の余震は、M5.0以上の地震が本震を含めて7回発生するなど当初活発であったが、21日以降はM4.0以上の地震は発生していない。

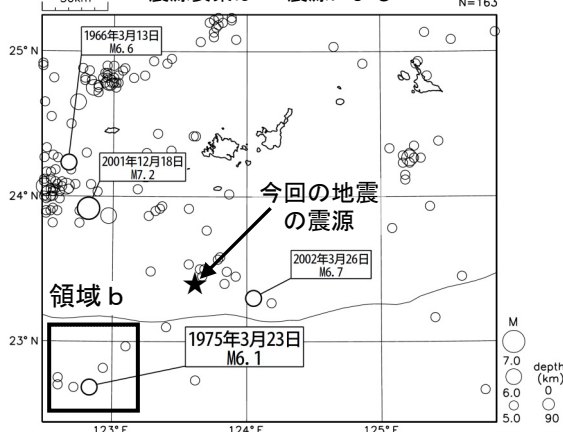
領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



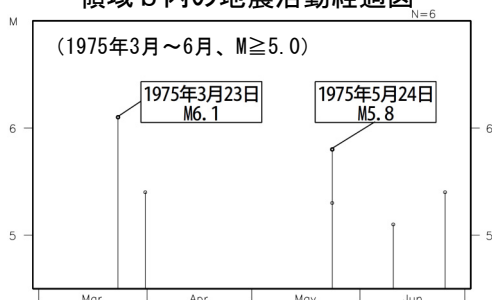
震央分布図

(1964年1月1日～2006年12月31日、深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ )

震源要素はISC震源による



領域 b 内の地震活動経過図



過去の活動を見ると、今回の震源の南西側(左図の領域 b)で1975年3月から6月かけて、M5.0以上の地震が6回、まとまって発生している。この期間の最大の地震は3月23日のM6.1の地震であった。